

JR東労組

本部OB会 ニュース

No. 196 2014年2月発行

新春クイズの 当選発表

正解は **特定秘密保護** 法でした。

今回は1月25日に締切り、最終的には314名の応募がありました。応募いただいた皆さんに御礼を申し上げます。

1月28日、役員による厳正な抽選を行い、次の方々の当選を確認しましたので、発表します。

おめでとうございます！

1等 1万円のびゅう商品券 (3名)

- ① 伊藤 至大 (盛岡) ② 黒澤 勝夫 (仙台)
- ③ 中村 征雄 (東京)

2等 5千円のびゅう商品券 (5名)

- ① 佐藤 啓一郎 (盛岡) ② 池田 豊実 (東京)
- ③ 田村 正勝 (東京) ④ 小此木 志信 (高崎)
- ⑤ 渋谷 吉夫 (長野)

3等 3千円のびゅう商品券 (10名)

- ① 川上 泰之 (盛岡) ② 柴田 俊夫 (秋田)
- ③ 佐藤 洋二 (仙台) ④ 曾根 哲男 (東京)
- ⑤ 和田 勲 (東京) ⑥ 田中 晃 (横浜)
- ⑦ 馬場 正男 (八王子) ⑧ 古谷 利夫 (大宮)
- ⑨ 松村 宗雄 (高崎) ⑩ 嶋田 保太郎 (新潟)

特別賞 1千円の図書カード (15名)

- ① 本木 正範 (盛岡) ② 上地 修一 (盛岡)
 - ③ 高橋 重雄 (秋田) ④ 青沼 良治 (仙台)
 - ⑤ 猪口 栄一 (仙台) ⑥ 星 信男 (水戸)
 - ⑦ 菊地 淳子 (千葉・家族) ⑧ 横川 守 (東京)
 - ⑨ 田中 勲 (東京) ⑩ 恒松 観朝 (横浜)
 - ⑪ 阿部 得男 (八王子) ⑫ 鬼久保 正治 (大宮)
 - ⑬ 絹川 順一郎 (高崎) ⑭ 渡部 憲三 (新潟)
 - ⑮ 町田 文夫 (長野)
- (以上 敬称略)

賞品は2月10日までにお届けします。

国会活動を支えるために

たしろ後援会に加入しよう！

2月～4月を加入促進強化期間に決定

年も改まり、安倍自民党独裁政治に対する反響の闘いが沖縄から始まりました。お金と桐喝で「辺野古埋め立て」を仲井真知事に認めさせた安倍政権が、移設予定地の名護市長選挙で飽くまで「県外移設」を訴える良心派の稲嶺現市長に敗北したのです(関連記事は裏面に)。

現在の反響の闘いは、東京都知事選挙へと引き継がれ、「不戦の誓い」を取り下げ「積極的平和主義」の名で「戦争の出来る国へと突き進む自民党から推薦された候補」と「脱原発」で闘っています。

私達OB会はこの闘いと連帯し、「日本の平和とくらしの向上を目指して闘っている田城議員の活動を支えるために、この2月から4月までを「たしろ後援会加入促進強化期間」と設定し、OB会員に後援会加入を呼びかけています。

危険な戦争の出来る国づくり

安倍首相は、第2次世界大戦で戦争責任を問われたA級戦犯の岸 信介元首相の孫にあたり、靖国神社参拝には異常な執念を持っています。

そんな安倍首相は、衆参両院選挙で得た多数の議席を背景に、国会議論や国民への説明を充分に行わず「国家安全保障会議設置法」や「特定秘密保護法」等を成立させ、領土問題や靖国神社参拝で「ナショナリズム」を煽り、日本の自衛隊を強化しています。

そんな安倍自民政権の「戦争の出来る国づくり」の政治を許していたら、近い将来必ずや、日本は戦火に巻き込まれることになるでしょう。

徐々に燃え広がる反響の後

そのような状況の中で、沖縄の名護市長選挙での勝利は「反響の第一歩」となりました。またJR東労組も参加している「防潮堤の森づくり」を行なっている福島県の南相馬市長選挙でも、「脱原発」を訴える現職の桜井市長が、自民党が推す候補者を破って再選されました。

これらの勝利は、民主党政権崩壊以降苦汁をなめてきた労働者や国民に勇気を与え、同時に、反響の橋頭堡を築きました。

活躍する田城議員

田城議員は、参議院議員になって3年半が経ち、現在「一年生議員」として大きな活躍をしています。

被災地の復興支援や激励・調査活動等を行いながら、昨年5月には「参議院国土交通委員会」で、「駅社員への暴力行為」の実態調査を大臣に強く求めました。また9月には、スイスやフランスに出かけ同種「暴力行為」の視察調査も行う等、勉強に余念がありません。

更に昨年12月には、「石綿職場」で働いていたOB会員の健康不安を解消するために、厚労省と国交省との勉強会も開きました。

OB会員は後援会員になろう

私達OB会はこの田城議員の働き掛けで厚労省と国交省との「勉強会」の場を持つことができた時に、組織内に国会議員がいるのといないのでは大きな違いがあることを改めて実感しました。

OB会員や高齢者には、これからの人生を過ごしていく上で大きな課題が山積しています。またJRだけでなく、多くの交通産業で働く労働者や退職者の期待も背負っていますので、これからも頑張ってもらわなくてはなりません。

そのために、OB会員は全員「たしろかおる後援会」に加入し、田城議員の国会活動を支援しましょう。



注目の沖縄名護市長選挙

東京地本OB会が勝利の現地ルポ

辺野古基地は走らせない!

1月8日「稲嶺ススム市長必勝総決起大会」への参加から、東京地本の取り組みは開始された。稲嶺市長は「海にも陸にも基地は造らせない」ときっぱり表明した。「今回の選挙は名護だけの問題ではない、これからの日本の在り方を問う選挙になる」と強調し、「もう一度、名護市民の誇りと気概を示そう!」と呼びかけた。

地本OB会は、組合員の取り組みの一員として2名が参加した。一日目のミーティングは、俳優菅原文太氏からの応援メッセージの読み合わせで今回の目的は充分伝わった。

菅原文太氏のメッセージ「名護市長選挙の行方は日本中が固唾をのん

で見守り、世界中が注視している。沖縄県民の安全と誇りを守る約束で知事に選ばれた仲井真知事が、中央政府の甘言と威しに屈服し県民との固い約束を捨て去った以上、誰が未来にわたり子々孫々につなぐ沖縄、そして名護市民の暮らしと安全と誇りを守るというのか。(中略)辺野古はもちろん、沖縄の土地も歴史もここに住む者たちのものだという事を稲嶺進現市長を当選させ、日本中世界中に発信してゆこう。稲嶺さん、何物にも恐れず正々堂々の戦いをして下さい。心ある日本国民たち、世界の良識も間違いない稲嶺さんの強い味方だから戦い抜いて下さい。」

勝ち得た信頼は真面目な行動から

行動は7時30分から1時間、幹線道



路交差点でのぼり旗を持つ「朝立ち」。その後、車移動で辺野古現地に立ち、海上基地建設阻止闘争から8年座り込みを続けるテント村の皆さんと交流。午後は選挙チラシ・ポスティング、ポスタ

貼り。時には夕方からの地域総決起大会への参加、街頭演説会へのぼり旗を持って街中ねり歩き行動等々でした。

当初、地元市民会議メンバー(平均年齢70歳)から「旅行気分の人部隊」に見られていた(?)かも知れないが、東労組の出しやばらない「真面目な活動に」、「JRの人」「東京から...」と気さくに声をかけてもらえようになった。その信頼感には選挙終盤、大型店舗駐車場の全車に貼られた「謀略ピラ」を発見し、直ちに回収作業を行った事で更に増した。

稲嶺再選！大勝利!

投票日夕方の街頭ポスター撤去作業には、地元支援者と共に行動した。

19日、選対本部に結集する人々に、20時過ぎ「沖縄タイムス号外」が飛び交った。翌日の沖縄2社は、社説の見出しで「誇り高い歴史的審判」「敗れたのは国と知事だ」と報じた。有権者数46582名、投票率76.7%、4155票の大差で勝利(前回15588票)。

この明確な意志は何を意味しているのか!基地を押しつけ大金を振りかざし、口を善くこうとする国家権力への「馬鹿にするな」という怒りの叫びだ。

辺野古埋め立て、移転強行を連帯の力でねえ返そう!

問題はその後、予想される日本政府の理不尽な辺野古強行移転にどう向き合うかである。沖縄を飛つ前にお会いした太田昌秀元知事は、勝利を喜びつつ「政府が法律を変えてでも推進すれば1950年代の、島ぐるみ土地闘争」コザ騒動の様な流血の再燃が心配だ。あの時と違うのは自衛隊の存在であり、介入した時に沖縄県民はあの昔を思い出すだろう。軍隊は国民を守ってくれない」と、静かな口調の中に重い本質を見た。

わが町の有名人名人高崎地本OB会 高崎地本OB会 会の2人目の有名人名人は中島房男さんです。中島さんは平成14年にJRを退職した以降、地域のお年寄りの手足となり飛び回っています。

上州の西郷どん!

在職中は営業畑一筋で、過ごし、秘かに極めた新舞踊で旅行先のお客様を楽しませてきました。現在は玉村町長寿会連合副会長、地区会長、老人会会長、「みつけた」機関誌玉村町通信員、地区防犯パトロ

ール員として活躍しています。老人会の催しでカラオケ大会、誕生会、グランドゴルフ等をやる時は、いつも無事故を祈りながら先頭で担っている「心優しい」会長さんです。

また防犯パトロール員の黄色の制帽とチョッキ姿はお似合いで、小学生の登下校時に交差点に立った時、「おはようございます」、「いつもおじさんありがと」と挨拶されると、疲れも一気



「身体に気をつけ、仲間を大切にしよう」が中島持論です。

(玉村町在住・中島房男・70歳)

かたつとと思う瞬間だ」と、笑顔で語っています。そんな中島さんですが、エネルギーッシュな顔つきから「西郷隆盛」のそっくりさんになり土産物店のおかみさんから感謝される茶目っ気な一面も持っています。

「身体に気をつけ、仲間を大切にしよう」が中島持論です。

「身体に気をつけ、仲間を大切にしよう」が中島持論です。

今回、現地に立つて際だって東京が見えてきた。犠牲を強いる差別的政策はもはや許されないことも痛感した。

東京から参加した若い組合員は、よく学び、よく聞てくれた。これからの活動に期待したい。OBとしてこの闘いに参加できたことに感謝し報告とします。(東京地本OB会長 繁)

皆の力で、成功させよう!

JR東労組本部OB会

第18回定期総会

- ☆ 開催日時 2014年4月11日(金) 12時~
- ☆ 開催場所 JR東労組本部・大会議室

日本高齢・退職者団体連合が「社会保障制度改革要求実現2・20院内集会」

- ☆ 主催 日本高齢・退職者団体連合
- ☆ と き 2014年2月20日(木) 10:00~12:00
- ☆ と ころ 参議院議員会館1階「講堂」

* JR東労組OB会は、貨物労組や東海労のOB会と共に参加します。

